

トップインタビュー

1997年1月3日

1996年1月3日

「介護用のベッドを取付に行けば、介護する人、される人から心のこもったお札を言われます。この仕事をやる社会的な意義を感じています」。タイハイM&C副島幸雄社長の開口一番

昨年市町村関係の健康祭りに積極的に参加し、

社会的意義を持つ企業として発展

介護用品のPRを行った。便利な介護用品を使い、少しでも介護の負担を軽

の言葉だ。

タイハイM&Cは在宅介護の手助けをする会社として設立された。三日月町のシヨールームには体の不自由な人も入れる手すりの付いた浴槽、車椅子でも入

のしようかとアヒールしたが、福祉関係者ばかりでなく、町民からも喜ばれた。

平成九年には在宅介護に対する公的介護保険の導入

れるトイレなどが展示してある。介護する立場で選んだ品が多く、介護する人にとって心強い存在だ。急速に進む高齢化。その中でも佐賀県の高齢化の進み具合は著しく、医療福祉

面からも大きな問題を抱えている。これからの社会現象として在宅介護は大切な役割を果たす。その現象にいち早く目をつけ、タイハイM&Cは着実に伸びをみせている。

が検討されている。ますます在宅介護の重要性が増すことが予測される。社会性意義のある企業として大きな発展が期待できる企業だ。

二十一世紀初めは超高齢化時代に突入する。県グリーンプラン（県高齢者保健福祉計画）をはじめ、行政も福祉対策が主流になってくると予想される。「在宅介護は今後大きな割合を占

めると思います」とタイハイM&C副島幸雄社長。昨秋久留米店を開設した。福祉機器や介護用品を取り扱う業界注目企業。市場を見通し対応、生活を支援する。

適切な介護用品が手に入れば介護する人の省力化、介護される人の生活を明るくする。小城市三日月町にリハビリ介護用品機器を展示、販売するシヨールームがある。店内に在宅ケアベ

ッド、浴室、トイレ等のモデルルームを完備。ベッド、車イスや床ずれ予防エアマット等の豊富なレンタルサービスも行っている。住宅産業との連携で生活をケア、快適で自立した居

住環境を応援する。中央での勉強会で物だけでなく情

手の良さを提案できるのも、現場を知るタイハイM

福祉生活を支援し総合産業へ

報のサービスを提供、福祉関係者の相談に対応する。メーカー側へ機器の使い勝

&Cの強みでもある。今年設立二十周年の節目の年。「総合産業への飛

躍の年にしたい」と副島社長はエネルギーに抱負を語った。専門的な介護サービスを提供し、共生の社会を目指して躍進する企業である。

株式会社大

タイハイM&C 平

代表取締役 副島 幸雄
小城市津町牛津一五一二四
電話0952-0206

